



第60号

港北区スポーツ推進委員
連絡協議会広報誌

活き生きスポ進

KOHOKU

平成29年12月発行
発行者
港北区スポーツ推進委員連絡協議会
編集
港北区スポーツ推進委員広報委員会
事務局
横浜市港北区大豆戸町26-1
横浜市港北区役所地域復興課内
電話 045-540-2238
FAX 045-540-2245

11月19日(日) 第22回港北区ペタンク大会開催!



69チーム
2077人の参加者に
お楽しみ
いただきました!

接戦が繰り広げられました。▶



▲今大会最高齢の参加者は93歳!
元気に楽しく、ご参加いただきました!



▲今大会入賞チーム

大会結果

- 優勝 大倉山ハイムA(大倉山地区代表)
- 準優勝 新羽ペタンコ(新羽地区・一般参加)
- 第3位 本家大倉山ハイムZ(大倉山地区・一般参加)
- 第4位 親和町会(A)(大倉山地区代表)



第22回港北区ペタンク大会優勝

胸に輝く三つの☆

大倉山ハイムAチーム 晝間 俊雄
第22回港北区ペタンク大会が、11月19日(日)樽町公園多目的広場で曇天北風が吹く寒い中開催されました。

我がチームは16回・17回大会の連覇を含め3回優勝していますが、ここ4年優勝から遠ざかっています。今年こそは優勝するぞと、いつもより多めに練習を行い、胸には金色の☆を三つプリントしたユニフォームを新調しました。自信を持ち気合を入れて大会に臨みました。

予選1回戦は10対2で順調な滑り出し。2回戦は4対3で辛勝。3回戦は2勝どうしの対戦。1メヌで5点も取られ負けパターン、相手も安心したのか次のメヌで6点取り返し何とか逆転勝ち、決勝トーナメントに駒を進めることが出来ました。

決勝トーナメントでは、予選で

◀優勝した大倉山ハイムAチーム



使用したDコートで2試合も戦う事ができ、地の利が働き勝ちを収めました。残念なことは大倉山ハイム同士で準決勝を戦う事になり、ワンツーフィニッシュの野望が果たせなくなってしまった事です。来年はクジ運に恵まれますように。

決勝の相手は、第1回大会で優勝した新羽ペタンコです。さすがに強敵でした。一進一退を繰り返し、制限時間が過ぎた時点で、7対5とリードしていましたが、最後の1投で2点目を取られ同点です。大会ルールにより1メヌ追加で決着をつけます。我がチームには鬼のポワンティール(奇せる人)が2人おり、何とか勝ち切り、4度目の優勝を果たす事ができました。

スポーツ推進委員、区役所関係者の皆様に企画・運営・グラウンド整備等をして頂き、気持ちよく大会に参加出来たことに感謝します。来年も大会に参加出来たら、胸に四つの☆を付けて出場します。

9月3日(日) 港北区スポーツ推進委員連絡協議会 全体研修会

高田地区スポーツ推薦委員 飯田 司



ラグビー講演会講師
リー・スンイル(李 淳駿)氏

9月3日(日)は、港北区のスポーツ推進委員を集めたAED講習と2019年に横浜で開催されるラグビーワールドカップ2019を記念して、リー・スンイルさんの特別講演会が開かれました。AED講習では、日本赤十字社神奈川県支部の方を講師としてお招きし、心臓マッサージとAEDの使用方法を学びました。また、質問コーナーでは、丁寧に答えいただいたり、うつ伏せの人の体勢を変える実演を見せていただくなど、受講者にとって、有意義な時間を過ごすことができました。

特別講演会では、リーさんからラグビーのルールからラグビーというスポーツが生まれた歴史、ラグビーの文化など、様々な角度からのお話をいただき、これまでラグビーを見たことがない、触れたことがない人にとっても分かりやすく、もっと知りたいと思わせていただけるとても楽しい講演会でした。

講演会の最後には、リーさんを囲んで集合写真も撮り、ラグビーワールドカップ2019に向けてスポーツ推進委員が一丸となって盛り上げていければと思います。



AED講習

■全体研修会

スポーツ推進委員のイベントではケガ人を出したくない！
急病人が出てもしっかり対応したい！
そんな思いから港北区スポーツ推進委員では毎年1回、AED講習を盛り込んだ研修会を開催しています。今年度は2019年に横浜国際総合競技場で開催されるラグビーワールドカップに向け、後半は月刊誌『ラグビーマガジン』でルール、レフリングに関するコラムを10年以上にわたり執筆されるなどの活躍があるリー・スンイル氏にご講演いただき、ラグビーの歴史について等学びました。



港北区オリジナルラガーシャツがついに配布されました！

11月4日(土) 「リポビタンロチャレンジカップ2017」 ラグビー日本代表 対 オーストラリア代表戦 at 日産スタジアム(港北区)

●ラグビー観戦記

新吉田あすなる地区スポーツ推進委員 吉川 武宏

11月4日(土)14時40分キックオフ、日産スタジアムでラグビーの日本代表VSオーストラリア代表の試合を観戦、国内でのラグビーのテストマッチとしては最多となる43,621人の観客が集まりました。試合は30対63と敗れましたが、後半は日本も見せ場を作り、終了間際の姫野選手のトライは大いに盛り上がりしました。

会場では、入場者全員に配られたメガホンと旗を使った一体となった応援が繰り広げられ、また、オーストラリアのサポーターもいて、やはり国際試合らしい雰囲気でした。試合後はノーサイドの精神に則り、両チームのサポーターがお互いの健闘を称えて談笑する姿もありました。これぞラグビーの醍醐味！

私たちの地域では、ふれあい運動会でラグビーボールを使った競技を取り入れています。2019年のラグビーワールドカップ決勝に向け、海外のお客様を受け入れる準備とともに、もっともっと地域を盛り上げていきたいと思った一日でした。



各地区開催イベントの紹介

大倉山地区

ソフトバレーボールというスポーツをご存じですか？

大倉山地区スポーツ推進委員長 天満 尚二

みなさん、ソフトバレーボールというスポーツをご存知でしょうか？バレーボールはみなさんよくご存じかと思います。バレーボールから派生したスポーツは多くあり、9人制のママさんバレーボールやビーチバレーボールが有名です。ソフトバレーボールも、バレーボールから派生したスポーツで、福井県小浜市で考え出され、1986年に日本バレーボール協会がソフトバレーボールの全国的な展開を決定し、「生涯スポーツ」として普及活動をしています。

ソフトバレーボールは、バドミントンのダブルスのコートで、ネット越しにゴム製の柔らかいボールを1チーム4人の競技者が打ち合い、決められた点を早く得点することを競う球技です。ボールがバレーボールより柔らかく、軽いことから、子供から、年配の方まで楽しんでいただけるまさに生涯スポーツです。

大倉山地区では、ソフトバレーボールの普及を目的に、毎年2月に地区内の小学校体育館をお借りし、大倉山地区連合町会主催によるソフトバレーボール大会を開催しています。大会の運営は、大倉山地区のさわやかスポーツ普及委員会とスポーツ推進委員連絡協議会が共同であり、毎年10チーム以上の参加をいただき、盛大な大会となっています。また、大倉山地区では、毎週日曜日の午後、太尾小学校をお借りし、ソフトバレーボールを楽しむことができます。みなさんも参加しませんか？



篠原地区

2017年子ども会対抗ユニホック大会を開催しました！

篠原地区スポーツ推進委員長 蒔野 秀治

6月11日(日)篠原中学校の体育館をお借りして今年も盛大に行われました。各地域子ども会の代表チーム総当り戦で行うためかなりハードになります。

一言で言うと室内ホッケーのこのゲーム、1チーム6人で行われるため控え選手が多い方が有利となります。その為各チームは正選手の倍以上の選手を揃えています。

年に一度開催のこの大会に向けて各子ども会は春先から練習を行い優勝を目指します。今回は男子7チーム、女子6チームで行われました。

白熱した試合が進む中、今年度の優勝を果たしたのは女子は仲手原、男子は富士塚でした。

地域の子供たちの交流を目的に行われているこの大会ですが大勢の大人も応援に加わり大会はけが人も出さず盛況のうちに無事終了することができました。



第60号発行記念 広報誌発行を振り返って

前城郷地区スポーツ推進委員／元広報委員長 小宮山 富夫



「活き生きスポ進」第60号の発行、おめでとうございます。小生が広報委員として携ったのは、平成17年10月発行の「活き生き体指」第27号より本年3月発行の「活き生きスポ進」第58号です。この間の広報誌の内容、変遷について振り返ります。平成20年度迄

は年2回10月、3月の発行にて定番記事は10月の広報誌では、年度事業計画／報告、港北区グラウンドゴルフ大会、夏休み子どもスポーツフェスティバル、港北区ペタンク大会に関するもの、3月では港北駅伝大会、市体指大会、健民祭に関するものでその他、体指研修会、地区発トピックスの記事があります。平成21年の第35号から年3回6月、11月、3月の発行となり、同時に薄緑の用紙に変わりました。6月の広報誌では各委員会／役員の紹介、地域別年間行事一覧表、11月では横浜北部交流会、ふるさと港北ふれあいまつり、また3月では港北区スポーツシンポジウムに関する記事が新たに加わりました。平成25年6月の第47号から「活き生きスポ進」に改め、同時にカラー刷りとなりました。また新たな記事として「まちの名選手紹介」を開始しました。平成28年6月の第56号から楽しいイラストが加わり、より親しみやすい紙面となりました。結びに、広報委員会の益々の発展を祈念し、ご支援ご協力頂きました皆様に厚くお礼申し上げます。

●創刊号(平成8年7月発行)



●第35号(平成21年6月発行)



●第47号(平成25年6月発行)



●第56号(平成28年6月発行)



ラグビー 港北区とラグビー

2019年にラグビーワールドカップが港北区で開催!



ラグーシャツ・メモ

日吉地区スポーツ推進委員 喜田 賢二

9月3日(日)の全体研修会で年始めから予定されていたラグーシャツが支給された。かなり楽しみにしていたので、生地には少々ガッカリ。どの季節に着るのだろうか? 予算の制約も有り仕方ないだろう。しかし着てみると満更でもない、色もデザインも悪くない。早速、9月10日(日)の日吉地区「健民祭スポーツフェスティバル」でお披露目。開会式で着ているシャツの説明を。と思っていたところ、横山区长が挨拶で2019年に開催されるラグビーワールドカップ大会のことをはじめ、私達が着用しているシャツの謂れまで触れられた。オーノー! 私の言おうとしていた事が……。

決してラグビーは詳しくないが結構魅力ある競技だと思う。大会を盛り上げる為、このラグーシャツで大いに宣伝しようではないか。



おしらせ 第33回 港北駅伝大会

昭和20年代の「綱島駅伝競走」に愛着をもつ区民の声により、昭和61年に第1回大会が開催されたことをみなさんにご存知ですか? そんな港北区の冬の風物詩「港北駅伝大会」が今年も開催されます。



開催日 平成30年1月7日(日)
会場 日産フィールド小机 (新横浜公園周回コース)
今年度参加予定者数 245チーム(1,448人)